

FACSIMILE EQUIPMENT

Publication number: JP4096564

Publication date: 1992-03-27

Inventor: YOSHIDA TAKEHIRO

Applicant: CANON KK

Classification:

- International: H04N1/00; H04N1/21; H04N1/00; H04N1/21; (IPC1-7):
H04N1/00; H04N1/21

- European:

Application number: JP19900214769 19900814

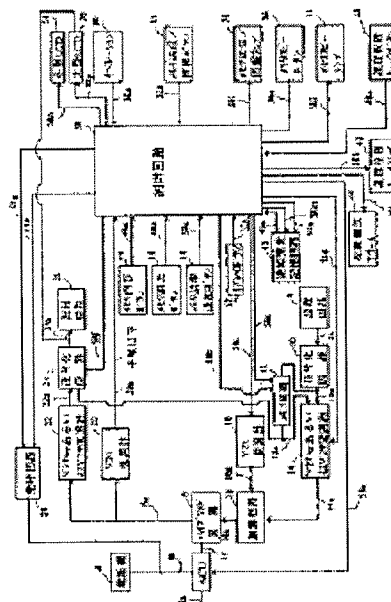
Priority number(s): JP19900214769 19900814

Report a data error here

Abstract of JP4096564

PURPOSE:To attain confirmation, delete and addition of a picture before the transmission with respect to missing read of an original by providing an additional storage control means storing re-read information and a command means commanding transmission start after or before a page designated by a memory page designation means of read information stored in a memory to the facsimile equipment.

CONSTITUTION:An encoding circuit 10 encodes (MH(modified Huffman) or MR(modified read)) a read data and outputs the result to a signal line 10a. A memory circuit 12 stores encoded information outputted from the encoding circuit 10. A memory circuit 12 stores encoded information outputted from the encoding circuit 10 and outputs the stored information to a modulator 14 and a decoding circuit 24 through a signal line 12a. The storage, output and address management of the information to the memory circuit 12 are implemented by using a pointer through a signal line 58b of a control circuit 58. Moreover, the addition and delete of read information to the memory circuit 12 are implemented through a signal line 58c by the control circuit 58.



Family list

2 family member for: **JP4096564**

Derived from 1 application

[Back to JP409](#)

1 FACSIMILE EQUIPMENT

Inventor: YOSHIDA TAKEHIRO

Applicant: CANON KK

EC:

IPC: *H04N1/00; H04N1/21; H04N1/00* (+3)

Publication info: **JP3108928B2 B2** - 2000-11-13

JP4096564 A - 1992-03-27

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-96564

⑤ Int. Cl.⁵

H 04 N 1/00
1/21

識別記号

1 0 6 C

庁内整理番号

7170-5C
8839-5C

⑬ 公開 平成4年(1992)3月27日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全11頁)

⑭ 発明の名称 ファクシミリ装置

⑯ 特 願 平2-214769

⑰ 出 願 平2(1990)8月14日

⑱ 発 明 者 吉 田 武 弘 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内
⑲ 出 願 人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
⑳ 代 理 人 弁理士 川久保 新一

明 細 書

1. 発明の名称

ファクシミリ装置

2. 特許請求の範囲

(1) 原稿から読み取った画情報を一旦メモリに格納した後、送信するファクシミリ装置において、

予めオペレータにより設定される読み取り枚数と、実際に読み取った枚数とを比較して、両者が相違する場合には、その旨を通知する通知手段と；

上記メモリ内に格納された読取り情報を表示出力またはプリント出力する出力手段と；

上記メモリ内に格納された読取り情報をページ単位で消去する消去手段と；

上記メモリ内に格納された読取り情報のページを指定するメモリページ指定手段と；

上記メモリ内に格納された読取り情報の上記メモリページ指定手段により指定されたページの後または前に、再読取り情報を記憶する追加記憶制御手段と；

送信開始を指示する指示手段と；

を有することを特徴とするファクシミリ装置。

(2) 請求項(1)において、

上記追加記憶制御手段による追加情報のページ数を指定する追加ページ数指定手段を有し、

上記メモリページ指定手段によるページ指定と、上記追加ページ数指定手段によるページ数の指定とを複数回行った後、これらの指定に基づいて、原稿の再読取り動作と複数箇所への追加記憶動作とを一括して行うことを特徴とするファクシミリ装置。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、ファクシミリ装置に関する。

〔従来技術〕

従来より、送信漏れをチェックする機能を有するファクシミリ装置が提案されている。

このファクシミリ装置は、送信開始に先立ってオペレータが送信枚数をセットするようにしたものであり、送信原稿を１ページずつ送信して、実際に送信した枚数をカウントし、全ての原稿を送信した後、セットされた枚数と実際に送信した枚数とを比較して、両者が異なる場合には、アラームを発生する。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかしながら、上記従来例においては、原稿を送信した後でなければ送信漏れを知ることができないため、送信漏れが発生した場合には、例えば相手先と電話で連絡を取り一部の原稿を再送する必要がある、大変煩わしいものとなっていた。

そこで、本発明者は、このような送信漏れを事前に検知すべく、送信原稿の読取り情報を一旦メモリに蓄積した時点で、その読取り枚数と予めセットしておいた原稿枚数とを比較し、一致するか

どうかを判定するようにしたファクシミリ装置を提案している。このファクシミリ装置では、読取り枚数とセットした枚数が一致しない場合、原稿の読取り動作をやり直し、適正に読取られた段階で、送信を行うようになっている。

しかし、このようなファクシミリ装置においても、原稿の読取り漏れがあった場合、単に読取り枚数がセット枚数と違うということのみを通知するだけであることから、再度、最初のページから読取りを行う必要があり、読取り装置の負担が大きいとともに時間も無駄となる欠点があった。

本発明は、原稿の読取り漏れに対して有効に対処することができるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

〔課題を解決する手段〕

本発明は、原稿から読み取った両情報を一時的メモリに格納した後、送信するファクシミリ装置において、予めオペレータにより設定される読み取り枚数と、実際に読み取った枚数とを比較して、両者が相違する場合には、その旨を通知する通知

3

手段と、上記メモリ内に格納された読取り情報を表示出力またはプリント出力する出力手段と、上記メモリ内に格納された読取り情報をページ単位で消去する消去手段と、上記メモリ内に格納された読取り情報のページを指定するメモリページ指定手段と、上記メモリ内に格納された読取り情報の上記メモリページ指定手段により指定されたページの後または前に、再読取り情報を記憶する追加記憶制御手段と、送信開始を指示する指示手段とを有することを特徴とする。

〔作用〕

本発明のファクシミリ装置では、送信原稿を読取ってメモリに記憶した際、読取り漏れが発生した場合には、送信を行うことなく、上記メモリに記憶した情報を出力することにより、読取り原稿をチェックする。そして、読取部における原稿の重送により不良状態で読取られた原稿ページを消去し、その前または後のページ番号を指定した後、重送されたページの再読取りを行なう。これにより、指定したページの後または前に再読取り

5

4

した情報が挿入され、全送信原稿が適正な状態でメモリ内に蓄積される。

〔実施例〕

第1図は、本発明の一実施例の構成を示すブロック図である。

まず、本実施例の具体的な説明に先立ち、本装置における処理の概要を説明する。

まず、メモリコピーをする時には、メモリコピーボタンを押下し、メモリコピーランプを点灯させる。次に、読取枚数チェックランプを点灯させ、読取枚数をテンキーから入力し、スタートキーを押下し、読取枚数のセットを終了する。

このスタートキー押下により、原稿の蓄積を開始する。ここで蓄積した枚数をチェックしていく。

そして、全ての原稿の蓄積終了後、セットした読取枚数と、実際に蓄積した枚数とを比較し、比較結果が異なる場合は、枚数確認アラームをならすとともに、例えば、「読取枚数は、セット枚数より2枚少ないです」と表示する。また、読取枚

6

数のセットミス等で、読取枚数がセット枚数より多い時には、例えば、「読取枚数はセット枚数より1枚多いです」と表示する。そして、メモリコピー動作へは移行しない。

ここでオペレーションは、メモリに格納したページ情報を大型ディスプレイ（出力手段）によりチェックできる。つまり、メモリ内容ボタンを押す（この時「メモリ内容参照」と表示される）、ページ数をテンキーにより押下すると、押下されたページ情報の先端から例えば5cmが大型ディスプレイに表示される。そして、大型ディスプレイの左上に、ページナンバーが表示される。

そこで、カーソルキー（↓）を押下すると、このページの表示部分から下側の部分が順次大型ディスプレイに表示され、さらにカーソルキー（↓）を引き続き押下すると、次ページの情報が先端から大型ディスプレイに表示されていく。また、カーソルキー（↑）を押下すると、このページの上側の部分が順次大型ディスプレイに表示され、引き続き押下すると、前ページの情報が後端

7

後ですか」と表示され、テンキーからページナンバーを入力し、スタートキーを押す。すると、LCDには、「何枚追加しますか」と表示される。

ここで、テンキーから追加するページ数を入力し、スタートキーを押す。すると、再びLCDには「どのページナンバーの後ですか」と表示される。ここでまだ、読取り情報の追加が必要であれば、上記を繰り返す。

ここで、読取り情報の追加がこれ以上不要のときは、スタートキーを押す。すると、指定されたページナンバーの次に、指定されたページ数分、読取り情報を追加し、メモリへ蓄積する。

そして、リプレイボタンを押下する。

これにより、前に指定された部数分、記憶した全てのページ情報に発信元情報を付加し、記録する。

次に、メモリ送信ならびに同報送信時について説明する。

まず、メモリ送信/同報ボタンを押下し、メモ

から大型ディスプレイに表示されていく。

なお、メモリ内容ボタンを押下後、例えば10秒以上キーが何も押下されないと、メモリ内容参照モードから抜け、表示はスタンバイ状態になる。

この表示状態でオペレータは重送したページを認識する。そして、メモリ消去ボタンを押下し（この時「メモリ消去状態」と表示される）、テンキーからページナンバーを指定し、スタートキーを押下する。これにより、指定したページナンバーの情報をメモリから消去する。

引き続きテンキーからページナンバーを指定し、スタートキーを押下すると、指定したページナンバーの情報をメモリから消去する。メモリ消去ボタンを押下後、例えば10秒以上キーが何も押下されないと、メモリ消去モードから抜け、表示はスタンバイ状態になる。

そして、オペレータは、例えば重送した情報を読取り位置にセットし、メモリ読取り追加ボタンを押すと、LCDには、「どのページナンバーの

8

り送信/同報ランプを点灯させ、メモリ送信、同報送信を選択する。

次に、読取枚数のチェックを行うならば、読取枚数チェックボタンを押下し、読取枚数をテンキーから入力し、その後スタートキーを押下して、読取枚数のセットを終了する。

そして、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤルキー、テンキーにより、送信相手先を入力する。ここで、複数相手先が入力された時は、同報通信となる。また、1ヶ所の相手先が入力された時は、メモリ送信となる。ここで、テンキーからの宛先指定は1ヶ所のみで、かつ、最終宛先でなければならぬ。

そして、スタートキーの押下、あるいは5秒以上キーが押下されないと、原稿の蓄積動作へ移行する。

この原稿の蓄積および読取り情報の追加は、メモリコピー時と同様である。そして、完全な状態の原稿を蓄積した後、リプレイボタンを押下すると、記憶した全てのページ情報に発信元情報を付

9

10

加し、前に指定されたメモリ送信あるいは同報通信を行う。

以下、第1図に基いて、各要素について順に説明する。

N C U (制御装置) 2は、電話網をデータ通信等に使用するために、その回線の端末に接続し、電話交換網の接続制御を行ったり、データ通信路への切換えを行ったり、ループの保持を行なうものである。また、N C U 2は、制御回路58からの信号レベル(信号線58a)が「0」であれば、電話回線2aを電話機4側に接続し、信号レベルが「1」であれば、電話回線2aをファクシミリ装置側に接続するものである。通常状態では、電話回線2aは電話機4側に接続されている。

ハイブリッド回路6は、送信系の信号と受信系の信号とを分離し、加算回路18からの送信信号(信号線18a)をN C U 2経由で電話回線2aに送出し、相手側からの信号をN C U 2、ハイブリッド回路6(信号線6a)経由でV 2 9復調器

1 1

V 2 7 ter またはV 2 9変調器14は、公知のC C I T T 勧告V 2 7 ter (差動位相変調)またはV 2 9(直交変調)に基づいた変調を行なう変調器である。そして、この変調器14は、制御回路58の信号線58dの信号レベルが「0」のときには、符号化回路10から出力される情報を直接入力して変調を行い、信号レベルが「1」のときには、メモリ回路12に格納された情報を入力して変調を行う。そして、この変調器14の変調出力は、信号線14aを通して加算回路18に送られる。

V 2 1変調器16は、公知のC C I T T 勧告V 2 1に基づいた変調を行なう変調器であり、制御回路58からの手順信号(信号線58e)を変調し、信号線16aを通して加算回路18に送出するものである。

加算回路18は、変調器14、16の出力を加算する回路である。加算回路18の出力は、ハイブリッド回路6に送られる。

V 2 1復調器20は、公知のC C I T T 勧告V

1 3

2 4、V 2 1復調器22に送るものである。

読取回路8は、送信原稿から主走査方向1ライン分の画像信号を順次読取り、白、黒の2値を表す信号列を作成するものであり、C C D (電荷結合素子)等の撮像素子と光学系とで構成されている。白、黒の2値化された信号列は、信号線8aから符号化回路10に送られる。

符号化回路10は、読取データを符号化(MH(モディファイドハフマン)符号化またはMR(モディファイドリード)符号化)して信号線10aに出力するものである。

メモリ回路12は、符号化回路10から出力される符号化情報を格納するとともに、この格納した情報を信号線12aを通して変調器14および復号化回路24に出力するものである。このメモリ回路12への情報の格納、出力およびそれらのアドレス管理は、制御回路58の信号線58bによるポインタによって行われる。また、メモリ回路12への読取り情報の追加、消去は、制御回路58により信号線58cを通して行われる。

1 2

21に基づいた復調を行なうものである。この復調器20は、信号線6aによりハイブリッド回路6からの手順信号を入力し、V 2 1復調を行い、復調データを信号線20aを通して制御回路58に送る。

V 2 7 ter またはV 2 9復調器22は、公知のC C I T T 勧告V 2 7 ter またはV 2 9に基づいた復調を行なうものである。ハイブリッド回路6からの変調画像信号を入力し、復調を行って復調データを信号線22aより復号化回路24に送る。

復号化回路24は、制御回路58の信号線58fのレベルが「1」のときにはメモリ回路12からの符号化データを入力し、「0」のときには復調器22からの復調データを入力して、復号化(MH復号化またはMR復号化)し、復号化データを信号線24aより記録回路26に出力する。

記録回路26は、復号化回路24が出力する復号化された白、黒の信号を1ライン毎に順次記録

1 4

する。

発呼回路 28 は、信号線 58 h に発呼命令パルスが発生した時、制御回路 58 より信号線 58 g に出力されている情報を入力し、選択信号を信号線 2 b に出力する。

オペレーション部 30 は、テンキー、ワンタッチキー、スタートキー、ホキー、#キー、アルファベットキー、カーソルキー（↑）（↓）が押下されると、その情報を信号線 30 a を介して制御回路 58 に出力する。

メモリ送信／同報ボタン 32 は、押下されると、信号線 32 a を介して制御回路 58 にパルスを出力する。

メモリ送信／同報ランプ 34 は、制御回路 58 から信号線 58 i に信号レベル「0」の信号が出力されているときに消灯し、信号線 58 i に、信号レベル「1」の信号が出力されているときに点灯する。

メモリコピーボタン 36 は、押下されると、信号線 36 a を介して制御回路 58 にパルスを出力

する。

メモリコピーランプ 38 は、制御回路 58 から信号線 58 j に信号レベル「0」の信号が出力されているときに消灯し、信号線 58 j に信号レベル「1」の信号が出力されているときに点灯する。

読取枚数チェックボタン 40 は、押下されると、信号線 40 a を介して制御回路 58 にパルスを出力する。

読取枚数チェックランプ 42 は、制御回路 58 から信号線 58 k に信号レベル「0」の信号が出力されているときに消灯し、信号線 58 k に信号レベル「1」の信号が出力されているときに点灯する。

枚数確認アラーム発生回路 44 は、制御回路 58 から信号線 58 l に信号レベル「0」の信号が出力されているときには、アラームを発生せず、信号線 59 l に信号レベル「1」の信号が出力されているときには、アラームを発生する。

通知宛先記憶回路 45 は、セットした枚数と、

1 5

実際に読取った枚数とが異なるときに、発呼する通知宛先を記憶する回路である。この通知宛先記憶回路 45 に、電話番号を記憶するときには、信号線 45 a に電話番号を出力した後、信号線 58 m に、ライトパルスを発生する。また、通知宛先記憶回路 45 に記憶されている電話番号を読み出すときには、信号線 58 m に、リードパルスが発生されると、記憶されている電話番号が信号線 45 a に出力される。

メモリ内容ボタン 46 は、メモリ内容をみるときに押下するボタンであり、このボタンが押下されると、信号線 46 a を介して制御回路 58 にパルスを出力する。

メモリ消去ボタン 48 は、メモリ内容をページ単位で消去するときに押下するボタンであり、このボタンが押下されると、信号線 48 a を介して制御回路 58 にパルスを出力する。

メモリ読取追加ボタン 50 は、メモリ内容に、読取情報を追加するときに、押下するボタンであり、このボタンが押下されると、信号線 50 a を

1 7

1 6

介して制御回路 58 にパルスを出力する。

リプレイボタン 52 は、再びメモリコピーあるいはメモリ送信／同報を繰り返すボタンであり、このボタンが押下されると、信号線 52 a を介して制御回路 58 にパルスを出力する。

小型 LCD 54 は、信号線 58 o に出力されている情報を入力し、表示する LCD である。

大型 LCD 56 は、メモリに格納されたページ情報を表示する LCD であり、信号線 24 a に出力されている情報を入力し、信号線 58 p による制御回路 58 の制御により表示する。

制御回路 58 は、既に説明した各回路の制御とともに、このファクシミリ装置の全体的な制御を行なうものである。

第 2 図は、このようなファクシミリ装置における動作を詳細に示すフローチャートである。

まず、CML をオフ（S62）、メモリ送信／同報ランプ 34、メモリコピーランプ 38 および読取枚数チェックランプ 42 を消灯する（S64～S68）。ここで、枚数確認アラーム

1 8

は出力しない(S70)。また、変調器14は、符号化回路10の出力を入力する状態となっている(S72)。

次に、制御回路58は、メモリコピーボタン36またはメモリ送信/回報ボタン32が押下されたかどうか監視し(S74、S76)、双方のボタンが押下されない場合は、他の処理を行う(S78)。

また、メモリコピーボタン36が押下された場合には、メモリコピーランプ38を点灯して(S80)、読取枚数チェックボタン40が押下されたかどうか判断し(S82)、このボタン40が押下されると、読取枚数チェックランプ42を点灯する(S84)。

次にテンキーから入力される枚数を記憶し、スタートキーの押下で読取枚数の入力を終了する(S86)。また、テンキーから入力されるコピー部数を記憶し、スタートキーの押下でコピー部数の入力を終了する(S88)。

そして、読取枚数をカウントするページカウン

タをクリアし(S90)、原稿の読取って画像情報を符号化し、メモリ回路12へ格納する(S92)。

ここで、1ページの読取りが終了したかどうか判断し(S94)、1ページの読取りが終了していなければ、S92の動作を続行し、終了していれば、ページカウンタを1つインクリメントする(S96)。

そして、次のページがあるかどうか判断し(S98)、有れば、S92の動作を繰り返す、無ければ、セット枚数と実際に読取ったページカウンタの値とが同じであるか否かを判断する(S100)。そして、同じであれば、メモリコピーランプ38が点灯しているかどうか判断し(S102)、このランプ38が点灯している場合には、発信元情報を付加し、指定された部数のメモリコピーを行い(S104)、ランプ38が消灯しているときには、発信元情報を付加し、メモリ送信/回報を行う(S106)。

また、上記S100において、セット枚数と実

19

20

際に読取ったページカウンタの値とが異なる場合には、枚数確認アラーム発生回路44より枚数確認アラームを出力する(S108)。

そして、このアラームとともに、例えば、「読取り情報は、セット枚数より**枚少ないです」というメッセージを小型LCD54に表示する(S110)。

次に、キー入力待ちとなり(S112)、メモリ内容ボタン46、メモリ消去ボタン48またはメモリ読取追加ボタン50の押下を監視する(S114、S116、S118)。

ここでメモリ内容ボタン46が押下されると、「メモリ内容参照」というタイトルを小型LCD54に表示する(S120)。そして、制御回路58の信号線58pによる制御により、メモリ回路12から復号化回路24を経て得られるページ情報の一部を大型LCD56に表示する(S122)。この表示は、カーソルキー(↑)(↓)の操作により、変化する。なお、所定時間(例えば5秒)経過してもキーが押下されない場

合には、スタンバイ状態の表示(年月日、時刻の表示)となる。

また、S116でメモリ消去ボタン48が押下されると、「メモリ消去状態」というタイトルを小型LCD54に表示する(S124)。そして、テンキーから消去ページナンバーを入力し、スタートキーの押下で指定された消去ページナンバーの情報を消去する(S126)。なお、所定時間(例えば5秒)経過してもキーが押下されない場合には、スタンバイ状態の表示(年月日、時刻の表示)となる。

また、S118でメモリ読取追加ボタン50が押下されると、「どのページの後ですか」というメッセージを小型LCD54に表示する(S128)。そして、テンキーからページナンバーを入力し、スタートキーの押下で指定されたページナンバーを確定する(S130)。

次に、「何枚追加しますか」というメッセージを小型LCD54に表示する(S132)。そして、テンキーから追加するページ数を入力し、ス

21

22

スタートキーの押下で追加するページ数の入力を終了する(S134)。

さらに、「どのページの後ですか」というメッセージを再度小型LCD54に表示する(S136)。そして、テンキーからページナンバーの入力あれば(S138)、S130に戻って、追加するページナンバーと追加するページ数の入力を繰り返す。

また、テンキーからの入力がなく、スタートキーが押下されれば(S138)、指定されたページナンバーの次に指定されたページ数分の読取り情報を追加し、符号化データをメモリ回路12へ蓄積する(S140)。

この後、リプレイボタン52の押下があると(S142)、メモリコピーランプ38が点灯しているかどうか判断し(S144)、メモリコピーランプ38が点灯していれば、発信元情報を付加して指定された部数のメモリコピーを行い(S148)、メモリコピーランプ38が点灯していなければ、発信元情報を付加してメモリ

23

路45に記憶する(S160)。

なお、5秒経過してもキーが押下されない場合には、スタートキーの押下を監視し、スタートキーが押下されると(S168)、上述したS90以降の処理を行う。また、5秒経過してもスタートキーが押下されない場合にも、S90以降の処理を行う。

なお、上記実施例の処理に加えて、リプレイボタンが押下されたとき、再度セット枚数と読取り枚数を比較し、不一致の場合には、枚数確認アラームを鳴らすようにしてもよい。

また、上記実施例においては、メモリコピーあるいはメモリ送信／同報動作が選択され、セット枚数と実際の読取り枚数とが異なるときのみメモリのアクセスすなわち読取り内容の表示、消去および追加を行うようにしたが、セット枚数と実際の読取り枚数とが一致した場合にも適宜メモリのアクセスを可能としてもよい。

〔発明の効果〕

本発明によれば、原稿の読取り漏れに対し、そ

送信／同報を行う(S146)。そして、開始に戻る。

また、上述したS76でメモリ送信／同報ボタン32が押下された場合には、メモリ送信／同報ランプ34を点灯し(S150)、読取枚数チェックボタン40が押下されたかどうか判断し(S152)、このボタン40が押下されると、読取枚数チェックランプ42を点灯する(S154)。

次にテンキーから入力される枚数を記憶し、スタートキーの押下で読取枚数の入力を終了する(S156)。

この後、テンキー、ワンタッチキーまたは短縮キーが押下されたことを判断し(S158)、これらキー押下による電話番号を通知宛先記憶回路45に記憶する(S160)。そして、タイマーに5秒をセットする(S162)。

次に、再びテンキー、ワンタッチキーまたは短縮キーが押下されたことを判断し(S158)、これらキー押下による電話番号を通知宛先記憶回

24

の送信前に画像の確認、消去、追加を行うことができる。したがって、全ページを再読取りする必要もなくなり、装置の負担を軽減でき、処理時間を節約できる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明の一実施例を示すファクシミリ装置のブロック図である。

第2図は、同実施例における動作を詳細に示すフローチャートである。

- 2…NCU、
- 4…電話機、
- 6…ハイブリッド回路、
- 8…読取回路、
- 10…符号化回路、
- 12…メモリ回路、
- 14…変調器、
- 16…変調器、
- 18…加算回路、

26

25

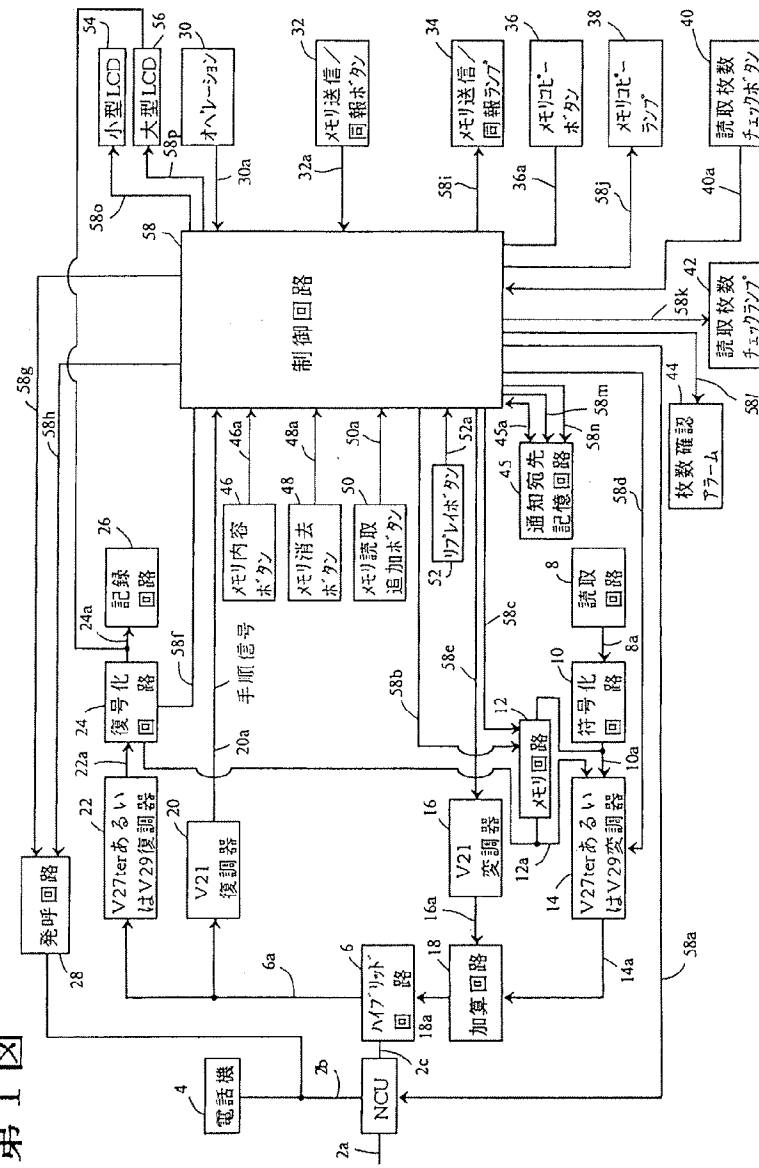
20 …復調器、
 22 …復調器、
 24 …復号化回路、
 26 …記録回路、
 28 …発呼回路、
 30 …オペレーション部、
 32 …メモリ送信／同報ボタン、
 34 …メモリ送信／同報ランプ、
 36 …メモリコピーボタン、
 38 …メモリコピーランプ、
 40 …読取枚数チェックボタン、
 42 …読取枚数チェックランプ、
 44 …枚数確認アラーム発生回路、
 45 …通知宛先記憶回路、
 46 …メモリ内容ボタン、
 48 …メモリ消去ボタン、
 50 …メモリ読取追加ボタン、
 52 …リプレイボタン、
 54 …小型LCD、
 56 …大型LCD、

58 …制御回路。

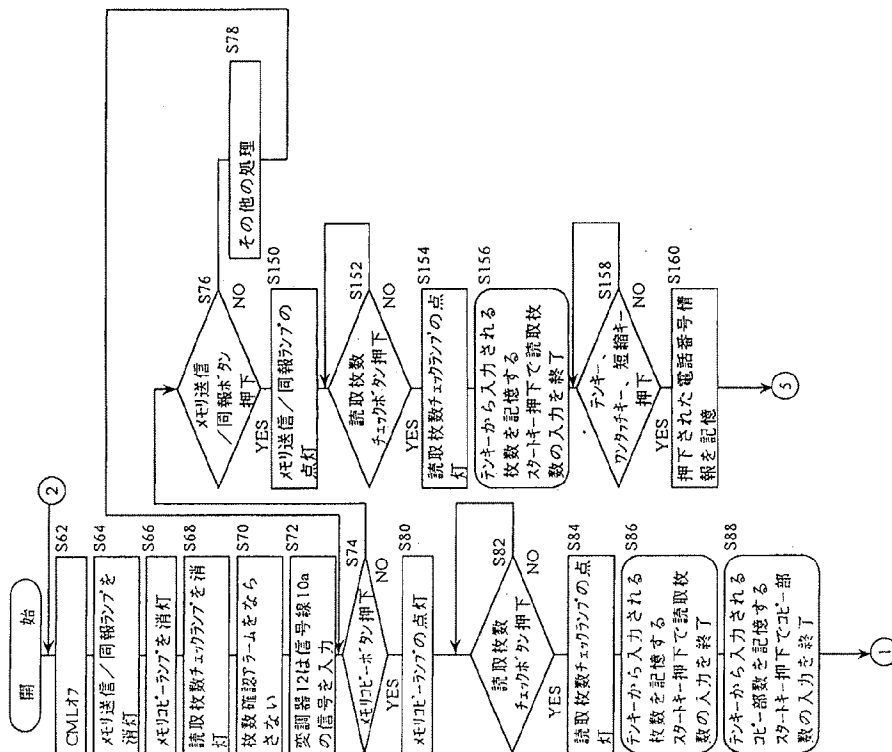
特許出願人 キヤノン株式会社

同代理人 川久保 新

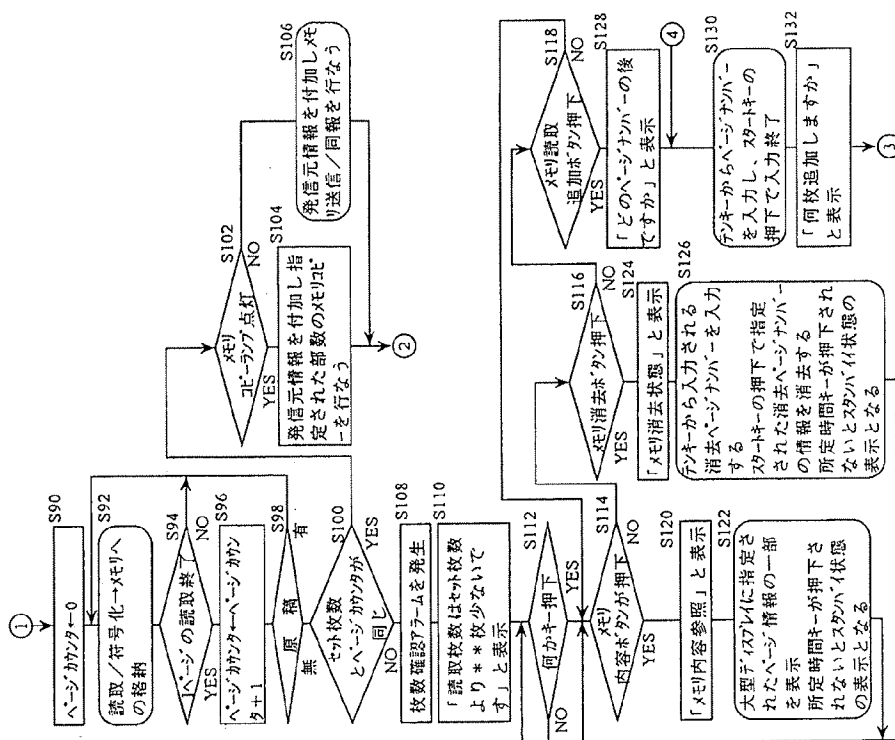
第1図



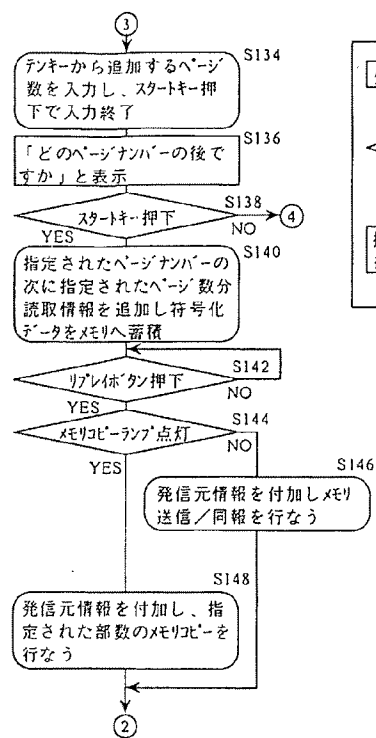
第2図(1)



第2図(2)



第2図(3)



第2図(4)

